

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	職員全体での意識共有がなされておらず、検討会等の参加もみられていない。 尊厳やプライバシーが損なわれないような対応や声かけへの全体での取り組み対策が必要。	職員全体が利用者中心主義の意識を確立し、日々の具体的な行動への反映ができ、それを評価できるような体制づくり。	全職員への自己研鑽計画策定・社内外研修参加を再度促し。 全員参加のモニタリング体制づくり。	8ヶ月
2	1	理念の具体的実践がなされていない。	職員全体で理念実現への具体的工程を話し合い、それぞれの足並みをそろえた理念実現への具体的な行動が実施され、それを評価できるような体制づくり。	全職員が理念実現のためにすべきことの具体的な行動目標を考え、持ち寄って話し合うことによる全体での行動目標策定、およびその実施と評価。	4ヶ月
3	52	共有空間が居心地よい場所となるよう、季節感を取り入れた掲示や飾りつけが必要。 また、掲示物が傷んだまま放置されないような工夫が必要。	職員全体が共有空間を利用者にとって居心地の良い場所にすることの重要性を認識し、日々の具体的な行動への反映ができ、評価できるような体制づくり。	利用者・職員協働による毎月の掲示物作成とその掲示を実施する。	1ヶ月
4	49	一人ひとりの希望に応じた外出支援がなされるような業務の工夫が必要。	職員全体が主体的な外出希望支援の重要性を認識し、日々の具体的な行動への反映ができ、それを評価できるような体制づくり。	職員による、意図を持った問いかけをする。 全職員のケア会議への参加を促す。 全職員参加のモニタリング体制づくり。	8ヶ月
5	40	職員が自然な形で支援できるような検討や工夫が望まれる。	職員全体が支援者としての意識を確立し、日々の具体的な行動への反映ができ、それを評価できるような体制づくり。	全職員への自己研鑽計画策定・社内外研修参加を再度促し。 全員参加のモニタリング体制づくり。	8ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。